

地域公共交通ワークショップ

実施報告書

実施日：平成30年10月17日(水)

午後7時～9時30分

実施場所：久御山町役場5階 会議室51

事業建設部 新市街地整備室

1. 地域公共交通ワークショップの概要

(1) 実施目的

地域公共交通は本町の将来のまちづくりと一体的に連携し、持続可能なものとするためには、行政と住民(利用者)が協働で取り組んでいくことが必要不可欠である。そのため、住民同士での意見交換(ワークショップ)を通じて、住民自身で地域公共交通を考え、意識醸成を図ることを目的としている。

(2) 日時・場所

- ・平成 30 年 10 月 17 日(水) 午後 7 時～9 時 30 分
- ・久御山町役場 5 階 会議室 51

(3) 実施内容

①開会

開会挨拶：高田事業建設部長

②久御山町の概要説明

内容「久御山町って、どんなところ？」 説明：新市街地整備室 福田

③有識者によるミニシンポジウム

内容「地域のみんなで取り組む私たちの公共交通」

講師：立命館大学 客員協力研究員 井上 学 氏

(久御山町地域公共交通協議会委員)

④各グループ内での自己紹介、役割分担

⑤テーマに対する意見交換

「久御山町の将来の姿」をテーマに「5年後の将来」「10年後の将来」「30年後の将来」について意見交換。

⑥意見交換の発表

⑦講評

⑧閉会

閉会挨拶：西田担当部長

(4)参加者

①当日参加人数：19名(男性：8名、女性：11名、1名欠席)

※参加者を地域別に各班へ振り分け

1班(御牧)：馬場崎將文、芝田幹恵、恵達男、児嶋しず子

2班(佐山)：高月裕子、兵藤正子、長岡幸夫、西尾治、荒井美香

3班(東角)：戸田のり子、清水真紀、津田俱子、荒川伸宏、田浦精一

4班(混合)：多田美穂、内山恵美、西尾孝子、奥田賢二、永井秀明

(敬称略)

②地域構成：大橋辺 1名、坊之池 1名、相島 1名、森 1名
東一口 1名、佐山 6名、林 2名、下津屋 1名
栄 4名、宇治市 1名(町内事業所に勤務)

③年齢構成

10歳代 0名(男0・女0)、20歳代 0名(男0・女0)

30歳代 2名(男1・女1)、40歳代 6名(男2・女4)

50歳代 0名(男0・女0)、60歳代 7名(男3・女4)

70歳代 2名(男0・女2)、80歳代 2名(男2・女0)

④参加者選出方法

- ・久御山町地域公共交通協議会4号委員(住民・利用者の代表者)の所属団体への参加依頼
- ・町政モニターへの参加依頼
- ・広報くみやまに記事を掲載しての一般公募

(5)意見交換の流れ

- ① 各グループで自己紹介、役割分担を決定。
- ② 個人用ワークシートを使って、「久御山町の魅力(良いところ)」「久御山町に対するお悩み(悪いところ)」を考える。
- ③ ②をベースとしてテーマである「久御山町の将来の姿」(「5年後の将来」・「10年後の将来」「30年後の将来」)について、意見交換を行う。
- ④ 各グループで意見交換の内容を発表。

2. 各グループの意見交換内容

1 班の発表

≪発表の要旨≫

- 久御山町の魅力

自転車で買物に行けることや農業が盛んなこと、古い村が多く結びつきが今でも強いこと、まちの駅に行くバスがあるため便利なのが挙げられる。

- 久御山町の悩み

車が多いので自転車に乗ることが怖いこと、のってこタクシーが夕方以降に運行していないこと、ランドマークが無いこと、公共交通機関がない御牧地区と佐山地区とでは地域公共交通の充実度の格差がひどいことが挙げられる。

- 5年後のまちの将来の姿

「まちの駅クロスピアくみやまを中心に魅力あるまちにする」「歓楽街とまではいかないが大人の遊び場が欲しい」「まちをきれいにする」「農道をきれいに整備する」「東一口に桜公園をつくる」「魅力あるまちにするために交通アクセスを整備する」ということが挙げられた。

- 10年後のまちの将来の姿

「企業と提携して、京阪や近鉄に乗れるようになったら良い」「後継者をつくる」ということが挙げられた。

- 30年後のまちの将来の姿

「日本遺産を作りたい」ということが挙げられた。

≪質疑応答の要旨≫

- のってこタクシーの使い方を知らないため、教えてもらいたいのだが、のってこタクシーを利用できる時間や場所が限られているのか。
⇒利用できる時間帯は8時台～17時台の間で町内に設置されている停留所で乗降する。
- のってこタクシーが夜に利用できないことは不便である。



2 班の発表

《発表の要旨》

- 久御山町の魅力

財政が潤っていることや車があると便利なこと、第二京阪道路が出来たことで大阪や京田辺に行きやすいことが挙げられる。

- 久御山町の悩み

府道が混雑するため、路線バスが遅れてしまうこと、時間通りに移動できないことが挙げられる。道路が混雑しやすいため、車を持っていても淀や大久保方面にも行きづらい。また、観光地が無いことも挙げられる。久御山町では茶畑が日本遺産となっているが、第二京阪沿線に茶畑があるだけで周辺への発展性がない。

- 5年後のまちの将来の姿

流橋の田園風景を活かして、川の駅(まちの駅のようなもの)を作り、観光化できるようにしてはどうかと思う。

- 10年後のまちの将来の姿

観光を活かして、活気のある街になっていて欲しい。今の久御山町は仕事で来訪する人が多く、観光で来訪する人が少ない。そのため、知名度も低い。観光で来訪する人が増えて、知名度が向上すれば、活気も出てくるのではないかと思う。また、道路を広げて、バス専用のレーンを作れば、バスが遅れずに運行できる。

- 30年後のまちの将来の姿

10～30年後の間でモノレールや路面電車でも良いので、町内に駅を設置して欲しい。久御山町は南北に第二京阪が通っているため、大阪市内やUSJ等にも大変行きやすい。一方で東西は府道のみであるため、混雑してしまう。府道を広げて、府道沿線の活性化を図っていく。まちが賑わえば、子育て世代が移住してくれると思う。子育て世代に移住してもらうことで、前町長が目標として挙げていた人口2万人を目指す。田舎ではなく、都会と思ってもらいたい。

- 久御山町は0～5歳までは保育所の待機がないため、住みやすい。しかしながら、小学校に上がる時に町外に移住してしまう。観光の促進や駅の整備等で魅力を創出して、住んでもらうことが重要である。

《質疑応答の要旨》

- 不交付団体が魅力であると挙げているが、なぜ魅力の一つになるのか。不交付団体であることが住民の実益となっている実感があまりない。例えば、福祉が良いため、住みやすい等の具体例があれば教えて欲しい。

⇒老人会等のイベントの際に、町から送迎バスが出ていることは不交付団体だからこそその魅力であると思う。交付団体では、送迎バスがないため、現地集合ということをして伺った。交付団体になると普段の生活が窮屈になるというイメージである。

- 久御山町が田舎であると表現されていたが、「久世郡」という呼称が田舎ぽさを出していると思う。しかしながら、街並みは決して田舎ではない。田舎だと感じることは、まちの魅力がないからであると思う。田舎であっても、きれいな農道を整備する等で、魅力は創出されるはずである。「田舎だから」ではなく、魅力がないから田舎である。



3 班の発表

《発表の要旨》

- 久御山町の魅力

メンバー全員が栄町のバス停周辺の居住であったため、久御山町の魅力については、交通の便がとても良いこと、大久保・中書島どちらに行く際にも便利、のどかな風景があることが挙げられている。久御山町に住んでいてよかったと感じる。それ以外にも、税金が安いことや子育てがしやすいこと、車で移動する際には道路が整備されているため快適に移動できることが魅力として挙げられている。また、のってこタクシーも町内を低コストで移動できるため、魅力のひとつとして挙げた。

- 久御山町の悩み

交通の便の地域格差が大きいことが挙げた。また、府道の交通量が多く自転車が通りづらいことも悩みである。

- 5年後のまちの将来の姿

「よりよい生活のために考えよう」をキャッチフレーズとしている。とても良い農産物が多いため、より一層PRして欲しい。また、久御山中学校への交通手段を確保(例えば、スクールバス)して、一般の町民も利用できるようにして欲しい。また、バス停にベンチが欲しい。全体のことを考えるとのってこバスの復活やのってこタクシーの運行時間帯の拡充が必要である。

- 10年後のまちの将来の姿

「久御山町らしさを出そう」をキャッチフレーズとしている。いつまでも「久御山町」であってほしい。農産物のより一層の宣伝や学校給食での提供をより一層促していく。

- 30年後のまちの将来の姿

子どもを中心にした公共施設があれば良いと思う。高齢者も大事かもしれないが、子どもを大事にして欲しい。現状を大事にして、現状維持を進めて欲しい。自転車も危ないため、3輪自転車にしてはどうかと思う。

《質疑応答の要旨》

- 特になし



4 班の発表

《発表の要旨》

- 久御山町の魅力

行政サービスが良いことや住みやすさ、スーパーマーケットの多さ、子育てのしやすさ、町内に3つも小学校があることが挙げられた。

- 久御山町の悩み

子育て目線での意見が挙げられた。道路の街灯の少なさや公園の少なさが挙げられた。意外だったことは交番が少ないことである。また、京都岡本記念病院ができたことで医療環境は向上したが、来院者による道路の混雑が発生している。町内に中学校がひとつだけであることから、通学時の交通事故や不審者等の不安も挙げられている。

- 5年後のまちの将来の姿

久御山中学校への通学のためのスクールバスを運行して欲しい。積極的に久御山中学校に通いたいと思える環境を整備して欲しい。

- 10年後のまちの将来の姿

町内の3つの小学校、中学校、高校を経て、町内の企業に就職してもらいたいと思ってもらえるようになってほしい。また、観光面が弱いことはまさに弱点であると思う。久御山の風土をしっかりと勉強して、マーケティングすることが重要である。

- 30年後のまちの将来

西日本のつくば市を目指して「スーパーサイエンスシティ」になって欲しいと考えている。日本で一番最初に無人運転のスクールバスを走らせたい。

《質疑応答の要旨》

- 無人のスクールバスを運行することは良いと思った。



意見交換内容 詳細

【久御山町の魅力(良いところ)】

- ・農業が盛んで地元の野菜がある。
- ・のどかな風景が良い。
- ・自転車で移動できる。
- ・車があるととても便利を感じる。
- ・車で出掛けるのに道路が整備されていて、どこでも行きやすい。
- ・第二京阪道路ができたことで大阪が近くなった。側道の利用で京田辺に行きやすい。
- ・イオンがあるので買い物に行くのに便利。買い物する場所が多い。
- ・まちの駅クロスピアくみやまに行くバスがあるので便利。
- ・栄町は大久保、中書島、市内に行くのにとても便利。
- ・松井山手からのバスができた。
- ・のってこタクシーの値段が安い。
- ・古い村が多く、結びつきが強い。
- ・財政が潤っている。税金が安い。不交付団体なので近隣の市町村より恵まれている。
- ・デイサービスが充実している。
- ・子育てがしやすい。学校や幼稚園が多い。こんなに小さい町なのに小学校が3つもある。
- ・保育所の待機児童がゼロで助かった。
- ・福祉フェアや町民文化祭、マラソン大会などイベントがある。

【久御山町の悩み(悪いところ)】

- ・鉄道がない。最寄駅へのアクセスが悪い。
- ・地域によって公共交通機関がない。地域の交通利便性の格差が大きい。
- ・京都市、向日市、長岡京市から通うのに時間がかかる。
- ・近鉄小倉駅周辺からイオンに行くバスがない。土日のみでも運行できないか？
- ・のってこタクシーが夕方までしか運行していない。
- ・車やトラックが多く、自転車に乗るのが怖い。自転車がもっと走りやすい環境になってほしい。
- ・道路の交通渋滞がひどい。岡本病院の前が混む。バスが来ない。
- ・大久保駅～モナコ前の府道が混む。北側の川を塞いで片道2車線にできないか？
- ・東西道路の計画がない。
- ・工業団地周辺では帰りにバスを待つのが怖い。
- ・久御山高校付近、下津屋付近の田んぼが多いところでは街灯が少なく暗い。
- ・公園が少ない。(特にボール遊びができる公園)
- ・交番が少ない。

- ・観光地がない。久御山町のランドマークが無い。
- ・外食産業が少ない。
- ・少子化が進んでいる。人口増加を図ってほしい。
- ・ニューファミリーが転入してくる新しい住宅がない。
- ・中学校の通学路が心配。中学校が遠い。事故が心配。
- ・大学がない。
- ・職員給与が少ない。仕事に見合う給与を！町職員が働きやすくなれば住民サービスも増す。
- ・対応力、柔軟性がない職員が多い。
- ・プールが夏しかない。
- ・アクティブシニアが思ったより少ない。

【将来のまちの姿に望むこと(5年後・10年後・30年後)】

- ・まちの駅クロスピアを中心に魅力あるまちづくりをしてほしい。そのためには交通アクセスの整備をしてほしい。
- ・バス専用道路の整備や無人(自動)運転のバス路線を導入してほしい。
- ・淀～役場～大久保間で路面電車を運行してほしい。大久保～工業団地を結ぶモノレールを運行してほしい。
- ・企業と連携して京阪、近鉄に乗れるようになったら良い。
- ・栄から久御山中学校へのバスがほしい。
- ・町バスを活用したスクールバスを導入してほしい。(一般人も利用可)
- ・自動運転での無人スクールバスの運用が出来ると良い。
- ・久御山団地バス停にベンチを設置してほしい。町民の敷地を活用したバス停の整備。
- ・のってこタクシーの時間を大幅に拡充してほしい。のってこバスの復活。
- ・繁華街とは言わないが、もう少し大人の遊ぶところがほしい。
- ・町や道路(農道)を綺麗にしたい。
- ・自転車が走りやすい道路の整備。三輪自転車を導入してほしい。
- ・地域の農産物をもっと宣伝してほしい。農産物の展示場をつくる。
- ・給食で使う野菜を全て地域のものにしてほしい。
- ・電柱の地下化を進めてほしい。
- ・子供中心の公共施設ができるといい。
- ・東一口に「桜公園」ができるといい。
- ・後継者をつくる。日本遺産をつくる。
- ・観光地として流れ橋を活用する。流れ橋に「川の駅」をつくる。
- ・近接職住のまちを目指してほしい。
- ・西日本の「つくば市」。スーパーサイエンスシティを目指してほしい。
- ・久御山町として現状を維持してほしい。

3. ワークショップ参加者アンケート結果

(19名中16名提出)

1 参加された感想をお聞かせください。

- | | |
|------------|----|
| ①良かった | 12 |
| ②良くなかった | 0 |
| ③どちらともいえない | 3 |

2 参加動機についてお聞かせください。(複数回答)

- | | |
|----------------|---|
| ①公共交通に関心があったから | 8 |
| ②案内文書もらったから | 3 |
| ③町に要望があったから | 5 |
| ④その他 | 3 |

・公共交通の話と思っていた。 ・学校PTAから。 ・シニアクラブから。

3 このワークショップは住民の声を行政に伝える手段として適していると思いますか。

- | | |
|---------|----|
| ①適している | 11 |
| ②適していない | 2 |
| ③わからない | 2 |

4 ワークショップ(意見交換)の時間はどのように感じましたか。

- | | |
|---------|---|
| ①ちょうど良い | 9 |
| ②長い | 5 |
| ③短い | 1 |

5 有識者によるミニシンポジウムはどうでしたか。

- | | |
|------------|----|
| ①良かった | 11 |
| ②良くなかった | 0 |
| ③どちらともいえない | 4 |

6 会場の雰囲気はどうでしたか。

- | | |
|------------|----|
| ①良かった | 12 |
| ②良くなかった | 1 |
| ③どちらともいえない | 2 |

7 次回以降も開催されたら参加したいですか。

- | | |
|----------|----|
| ①参加したい | 10 |
| ②参加したくない | 2 |
| ③わからない | 3 |

8 良かった点、ご感想をお聞かせください。

- ・ワークショップを他の方面にも活かしたい。(例えば自治会、シニアクラブ等)
- ・貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。もっとたくさんの方が参加されたらいいなと思うワークショップでした。
- ・地域に住む方のお話を聞いたこと。通学生の問題を知れた。
- ・みなさんが久御山町が大好きなことが伝わった。たくさんの様々な意見が聞けてよかった。
- ・みんなで考える将来の久御山町。いろいろな意見が出ておもしろかった。実現できたらいいなあ。